

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 25 年 2 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 23 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2※、図 3※-①）

今期間、機器障害の為、山頂部東側斜面の噴気の状況は観測できませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 3※-②、図 4※）

新潟焼山付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(置)：東京大学地震研究所、(新)：新潟県

図 1 新潟焼山 観測点配置図
GPS 基線③④は図 3※の③④に対応しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 3 月分）は平成 25 年 4 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号：平 23 情使、第 467 号)。

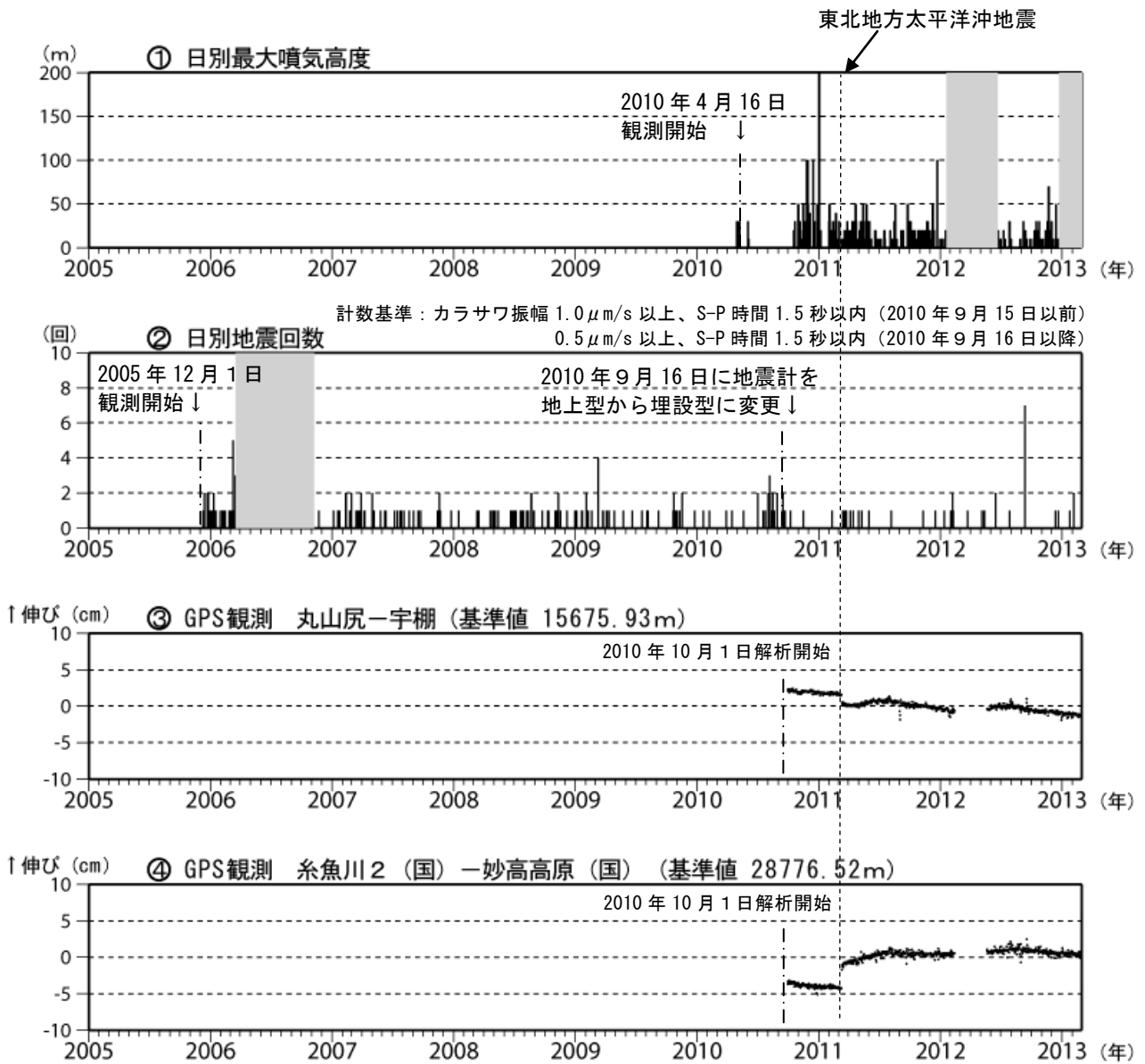


図3※ 新潟焼山 火山活動経過図 (2005年12月1日~2013年2月28日)

- ① : 定時観測 (09 時・15 時) による日別最大噴気高度
図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ② : 日別地震回数
図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ③ ④ : GPS 連続観測結果 (国) : 国土地理院
③④の基線には、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
③④は、図1のGPS基線③④に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

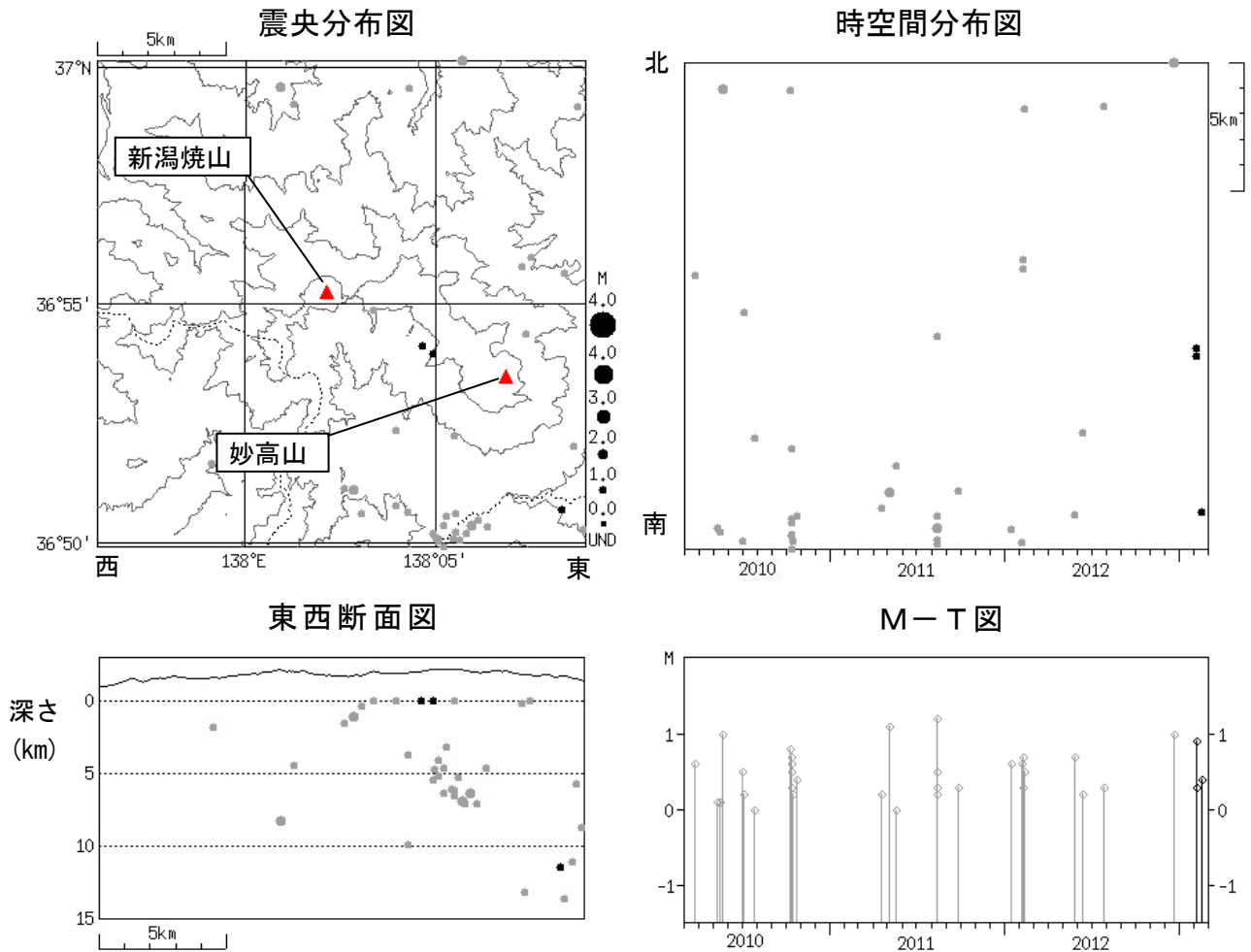


図 4 ※ 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2010 年 3 月 1 日～2013 年 2 月 28 日）
 ● : 2010 年 3 月 1 日～2013 年 1 月 31 日 ● : 2013 年 2 月 1 日～2 月 28 日
 M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。